

市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

1999年 10月号

平成11年9月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

【NPO室から】

今回成立した2団体を含め、NPO法人は11団体になりました。

今回、特定非営利活動法人(NPO法人)として成立した2団体と申請中の1団体を紹介します。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

10月~12月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は7件の情報を掲載しています。

フリーマーケット情報

楽しみながら資金集めができ、リサイクルにも役立つフリーマーケット。今月は6つのグループが開催するフリーマーケットを紹介します。

NPOリレーインタビュー

「ファーム設立準備会」代表 みわぶいち
三輪無一さん

子どもたちが自然に触れ、体験できる場所として農場をつくりたいという三輪無一さん。11月7日に福井県で行われる「福井・滋賀・三重市民活動フォーラム'99」の第6分科会「農に学ぶ」のコーディネーターでもある三輪さんにとって「農」とは何なのでしょう？

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

【NPO室より】

今回は特定非営利活動法人(NPO法人)2団体成立、申請が1団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった1団体と成立した法人2団体を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

【25】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど

・申請年月日 平成11年9月1日

・代表者の氏名 佐橋俊美

・法人の事務所の所在地 久居市寺町1258番地

・縦覧期間 平成11年11月1日まで

・認証の種別 設立

・定款に記載された目的 本会は、未来を担う子どもたちが夢と希望もてる社会の実現をめざし、すべての子どもが健やかに育つ環境を整えるための活動を行うことにより、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

(平成11年8月13日～平成11年9月17日申請分)

●成立した特定非営利活動法人

【10】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人ふれ愛サービスセンター

・認証年月日 平成11年8月31日

・代表者の氏名 高村鶴男

・法人の事務所の所在地 尾鷲市上野町1番43号

・定款に記載された目的 この法人は、尾鷲市を中心として東紀州地域の高齢者の保健、福祉に関する事業、子供の健全育成に関する事業及び環境保全に関する事業を行い、もって地域住民の福祉の向上及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。

・登記年月日 平成11年9月8日

【11】

・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人三重県四日市地域防災まちづくり推進協会

・認証年月日 平成11年9月1日

・代表者の氏名 北住 弘

・法人の事務所の所在地 四日市市富田一丁目24番47号

・定款に記載された目的 この法人は、三重県四日市地域住民に対して、防災まちづくりに関する事業を行い、良好な市街地環境の整備と、住民が将来にわたり、安全で、安心で、快適な生活ができるよう、災害に強いまちづくりの推進に寄与することを目的とする。

・登記年月日 平成11年9月13日

(平成11年9月17日現在)

10月～12月に開催される

市民活動に関する 講演会やイベントです

『買ってはいけない』講演会

●とき／10月2日(土) 開場PM1:00 開演PM1:30～PM4:00

●ところ／ふるさと会館大ホール(嬉野町権現前)

●入場料／前売300円、当日500円

●内容／『週刊金曜日』別冊ブックレット『買ってはいけない』の内容に基づく講演会です。講師は船瀬俊介さんを予定しています。私たち一人ひとりの消費意識を変えることで、企業が環境や健康に配慮したより良い商品づくりをしてくれるよう支援し、共に安心して暮らせる生活をめざして行きます。

●問い合わせ先／こびすくらぶ Tel.05984-2-8135

●主催／『買ってはいけない』講演会実行委員会、週刊金曜日

美しい海を21世紀へ残そう! クリーンアップ全国キャンペーン

●とき／10月3日(日) AM9:00～AM11:00(雨天中止)

●ところ／津市白塚新町海岸グラウンド集合

●内容／クリーンアップキャンペーンは「美しい海を21世紀へ」残していくために、海でつながる世界中の仲間と共に行う国際的なキャンペーンです。海岸のゴミを拾いながら、その種類や数量などをデータとして集め、ゴミを生み出さないための行動や社会づくりに結びつけます。集められたデータはアメリカのCMC(海洋自然保護センター)に送られ、国際ビーチクリーンアップの結果としてまとめられます。また、オーストラリアのクリーンアップ・ザ・ワールド(CUW)とも協力して行われます。

●持ち物／軍手。ゴミ袋は主催者で用意します。
●主催・問い合わせ先／白塚の浜を愛する会(西口) Tel.059-231-7170

捨てないで!傷つけないで!ころさないで!

動物の命を救う会

パネル展示会

●とき／10月10日(日) AM10:00～PM5:00

●ところ／伊勢市一之木町中央公園(伊勢大祭り会場)

●内容／動物救済のためのパネル展を行います。普段私達が目にする事のない、実験動物たちの実態や飼いに捨てられ殺処分されていく犬や猫の実態をパネルにて展示します。私たちの知らないところで、たくさんの動物たちが苦しんでいることを1人でも多くの人に知ってもらいたいと企画しました。会場では、署名活動、書籍販売、動物実験をしていない環境にやさしい商品の販売なども行います。売り上げの一部は関連機関に寄付されます。ぜひ見に来てください。

●問い合わせ先／御菌治療院 Tel.0596-22-7481

●主催／動物の命を救う会

天然酵母で国産小麦の パン教室



●とき／10月16日(土)

AM9:00～PM12:30

●ところ／四日市市海蔵地区市民センター2F調理室

●会費／1000円

●内容／天然酵母をご存知ですか?今、市販のパンの大半は外国小麦とイースト菌を材料にしてつくられています。イーストも天然酵母も元になる酵母菌そのものは自然界に存在する微生物ですが、イーストの方は麩蜜糖という甘味飼料とリン酸や窒素などの化学肥料で拡大培養されたものです。一方、天然酵母は、昔ながらの野生酵母を、大麦、小麦、もち米、長芋など100%天然物を使って自然培養してあります。化学物質は全く使いません。今回は渡辺ひろみさんを講師に招き、天然酵母と国産小麦をつかったパンをつくります。また、レー

ズンやビール、りんごなどからつくる野生酵母のつくり方講習もあります。無農薬紅茶を頂きながらの試食会では酵母パンのこと、子育てのこと、環境のこと、いろいろお話できればいいなと思っています。どうぞお気軽にご参加ください。

なお、当日希望する方に、野生酵母をおわけいたします。100円と熱湯消毒の蓋つきガラスビン(約300CC)をお持ちください。

●持ち物/エプロン、ふきん、コップ、筆記用具、ビニール袋。

ある方は、タイマー、温度計、パンきりナイフ

●申込・問い合わせ先/星のこども(葛西成美) Tel.0593-32-2876 (受付時間PM7:00~PM8:00)

E-mail jfx12608@mx.baycity.ne.jp

親子で “響” の能楽おはやし体験コンサート

●とき/10月20日(水) 受付PM1:30 PM2:00~PM3:30

●ところ/百合が丘市民センター(名張市百合が丘西5-13)

●参加費/親子ペア(2人)1000円、子ども(3才以上)追加1人につき400円、大人(1人)1000円

※親子で参加してください。子どものみの参加はご遠慮ねがいます。

●内容/「もっと日本の古典文化に関心を持ってもらいたい」という思いから、プロの若手能楽師が集まって結成したグループ“響”によるコンサート。笛、小鼓、大鼓、太鼓という4つの和楽器による演奏のほか、子どもたちが好きな楽器を選び、直接触ったり、音を出したりするミニ講習もあります。

【プログラム】

おはやし演奏、楽器紹介(笛、小鼓、大鼓、太鼓)、体験コーナー

●募集人数/親子100人

●応募締切/10月1日(金) 消印有効。応募者多数の場合は抽選。

●申込方法/往復ハガキに住所、氏名、子どもの年令、電話番号、参加人数を記入の上、下記まで。

●申込先/518-0226 青山郵便局 私書箱6号 「子育てネットワーク わいわいねっと」

●主催/子育てネットワーク わいわいねっと

●協賛/夏見歯科 ●後援/名張市、名張市教育委員会、名張市社会福祉協議会、名張能楽振興会

ヒッポファミリークラブ教育講演会

「7カ国語で話そう」

●とき/10月22日(金) PM6:30~PM8:30

10月23日(土) PM2:00~PM4:00

●ところ/伊勢シティプラザ ●参加費/無料

●内容/ヒッポファミリークラブとは多言語の自然取得と、市民レベルでの国際交流の活動を行う全国組織のNGO団体です。伊勢でも1歳のオチビさんから、お孫さんのいらっしゃる方まで幅広い年代のメンバーが等身大で活動しています。今回はヒッポファミリークラブの中心課題である多言語活動について現在までの研究と実践から得たさまざまな事例をお話します。言語・人間・国際交流について一緒に考えてみませんか。託児の用意がありますので、ご利用ください。

●問い合わせ/言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ(辻伽寿子)

Tel.&Fax.0596-22-8401

E-mail chachara_family@anet.ne.jp

●主催/言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ

●後援/三重県、伊勢市、鳥羽市、御園村、小俣町、玉城町、二見町、度会町の各教育委員会

お月見コンサートin白塚海岸



●とき/10月23日(土) PM 4:30~6:30

●ところ/津市白塚新町海岸グラウンド

●参加費/無料

●内容/自然豊かな白塚海岸で開催する恒例のお月見コンサートです。心に響きわたる和太鼓の音とともに、海岸でひとときをすごしませんか。三重県国児学園の子どもたちの和太鼓演奏のあとは、三重大学・地学教室のみなさんにお手伝いいただいて星空観望会も開催します。雨天の場合は中止です。ご注意ください。

●主催/白塚の浜を愛する会、白塚ウミガメクラブ

●問い合わせ先/白塚の浜を愛する会(西口) Tel.059-231-7170

「まあ、やってみよう!のお、ほうばい」 第6回地域づくり仕事人交流会



inくまの

●とき/10月30日(土) AM11:00~

●ところ/熊野庁舎集合後、紀和町コミュニティセンターへ

●内容/昨年まで「地域づくり仕掛人サミット」の名称で行われていた地域作りの研修・交流会が新たな名前でお目見え。5団体の事例発表の後、同じく5つの分科会で語り合います。テーマは大きく分けて3つ。『外から見た「くまの」~外からの意見吸収~』、『なるほど、ザ、「くまの」~ウチからの情報発信~』、『究極のネットワークづくり』です。東紀州で地域づくりの輪を広げましょう。なお、送迎バスの運行も予定しています。詳しくはお問い合わせください。

●募集人数/150人 ●応募締切/10月15日(金)

●申込・問い合わせ先/みえ地域づくり団体交流会議事務局
Tel.059-224-2768 Fax.059-224-2418

●主催/「地域づくり仕事人交流会inくまの」世話人会、みえ地域づくり団体交流会議(三重県地域振興課内)、東紀州地域活性化事業推進協議会

福井・滋賀・三重 市民活動フォーラム'99

~県境を越えて3つの「うみ」を結ぶ夢ネットワーク~

●とき/11月7日(日) AM11:00~PM5:00

●ところ/福井県鯖江市

●参加費/フォーラム…一般2000円、学生1000円(昼食代含む)
交流会…高校生以上3000円、小・中学生1500円

●内容/福井・滋賀・三重の3県の県民が集まり、環境、福祉、まちづくりなど幅広い市民活動をテーマに交流し、語り合うフォーラムです。市民活動に関心のある人なら誰でも参加できます。

【プログラム】

AM11:00~AM11:30 全体会(郷陽会館)

正午~PM3:00 分科会(郷陽会館、鯖江市市民活動交流センター、鯖江公民館)

PM3:30~PM5:00 交流会(郷陽会館)

【分科会テーマ】

(1)介護保険とNPO

~公的介護保険制度に対し、市民・NPOは何ができるか~

(2)声を出してまちに出よう~自分をアピールすることから始めよう~

(3)21世紀の高齢社会を考える~あなたの老後に不安はありませんか~

(4)子どもの居場所~だまって聞いてみよう、子どもの言い分~

(5)子どもと環境教育~自然環境を学び、はぐくむ心を育てよう~

- (6) 農に学ぶ～農とかかわる4つのポイント～
- (7) みんなで『まちなか再生』のシナリオを描こう～まちなかの活性化問題に取り組む～
- (8) 望ましい文化会館・ホールの活用～ハードよりソフト～
- (9) 国際交流と支援活動～共生の道求めながら在り方を探る～
- (10) ころばぬ先のネットワーク～ふだんの顔が見えるおつきあい～
- (11) 企業人を市民活動に招く方法
- (12) NPOをサポートするNPO?～組織経営力のサポートを考える～
- (13) 女性票が社会を変える～女性の票を政治の中に反映するには～
- (14) 動き出そう!市民によるまちづくり～実現に向けての問題整理～
- (15) 事業評価のメリット～市民による事業評価システムで協働を考えてみよう!!～

- 募集人数/450人(先着順)
- 申込締切/10月8日(金)
- 問い合わせ先/三重県生活部生活課NPO室 Tel.059-224-2623 Fax.059-224-2072
- 主催/福井・滋賀・三重市民活動フォーラム実行委員会

伊勢湾台風40年 全国率先市民みえサミット

- とき/12月4日(土) PM1:00～PM5:30 (PM6:00～ 交流会)
12月5日(日) AM9:30～PM2:00
- ところ/三重県消防学校(鈴鹿市石薬師町452)
- 参加費/1000円(飲食と宿泊は別途料金、宿泊は定員68人)
- 内容/伊勢湾台風の体験を市民の立場からもう一度明らかにし、市民活動と災害対応について広い視点で話し合いたいと思います。関心のある方は、ぜひご参加ください。

【プログラム】

- ・12月4日…映像(伊勢湾台風)、基調講演、伊勢湾台風10人の証言、パネルディスカッション、交流会
- ・12月5日…分科会(1.災害と情報について考える、2.災害救援市民活動について考える、3.まちづくりと地域防災について考える、4.災害と心のケアについて考える、5.市民から見た水害復旧のあり方について考える) ランチ・カンファレンス、宣言発表
- 申込締切/11月15日(月)
- 申込・問い合わせ先/全国率先市民みえサミット実行委員会事務局 514-0004 津市栄町1丁目954 三重県市民活動センター内 Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072
- 主催/全国率先市民みえサミット実行委員会(災害救援ネットワークみえ、三重県社会福祉協議会、日本赤十字社三重県支部、三重県、鈴鹿市)

フリーマーケット情報

資源のリサイクルと共に、市民活動団体の活動資金集めの場としてフリーマーケットが欠かせないものになっています。市民グループが主催するフリーマーケット情報を教えてください。

【フリーマーケットinシティーパークの予定】

- とき/毎月第1日曜日(但し、1、2、8月を除く)
10月3日(日) AM10:00～PM4:00(雨天の場合、翌週)
- ところ/四日市市民公園(四日市市安島1丁目 アムスクエア前)

- 申込・問い合わせ先/三重県フリーマーケット協会事務局
Tel.0593-55-2939
- 主催/フリーマーケットinシティーパーク実行委員会

【第18回フリーマーケットin津開催の予定】

- とき/10月10日(日/津まつり当日)(雨の場合、翌日11日)
- ところ/津お城公園(津警察裏、高虎像のある公園・車イス対応トイレあり)
- 内容/「もったいないを見直そう」をテーマに18年前から年1回の開催を続けてきました。出店の条件はアマチュアのみ。津市内を中心とするさまざまなボランティアグループがたくさん出店することも特徴です。※今年の出店申込は締め切りました。
- 申込・問い合わせ先/514-0007 津市大谷町301-1 萩野茂樹方 フリーマーケットin津実行委員会 Tel.059-221-5389 Fax.059-221-5388 (なるべくファックスをご使用ください)
- 主催/フリーマーケットin津実行委員会

【リサイクル運動市民の会三重の予定】

- とき/10月17日(日) AM10:00～PM2:00
(雨天・10月24日)
- ところ/アコレ鈴鹿
- 内容/発足9年目を迎え、三重県と鈴鹿市の後援を得て活動しているグループです。奇数月は鈴鹿市弁天山公園にて、偶数月はアコレ鈴鹿にてフリーマーケットを開催しています。入会金、年会費各1000円。入会するとリサイクルイベントの案内や不要品の情報などを送ります。申込はできるだけFaxを利用してください。
- 入会申込/510-0212 鈴鹿市中旭ヶ丘3-13-6 リサイクル運動市民の会三重事務局(伊藤寿代) Tel.0593-86-6686
- 参加申込・問い合わせ先/佐原み子 Tel.&Fax.0593-69-0526

【中勢フリーマーケット協会の予定】

- 10月17日(日) AM10:00～PM4:00(雨天時は24日)
鈴鹿弁天山公園 参加費/会員1000円、非会員1500円
- 11月21日(日) AM10:00～PM4:00(雨天時未定)
松阪中部台公園 参加費/会員1300円、非会員1500円(仕入れ品・プロは1000円プラス)
- 申込方法/通信欄に日にちとブース数を明記して、中勢フリーマーケット協会口座 郵便振替 00870-0-121921 まで。
- 申込・問い合わせ先/510-0304 安芸郡河芸町上野1271 中勢フリーマーケット協会 Tel.090-7027-4334 Fax.059-245-2536 E-mail vivianja@alles.or.jp

【ぐるぐるマーケットの予定】

- とき/10月24日(日) PM1:00～PM3:00(雨天時は31日)
- ところ/おかの医院駐車場(Aコープうれしの店前)
- 内容/モノの活かし方を考えながら、大人も子どもも一緒になってフリーマーケットを楽しみましょう。イベントも企画しています。
- 申込・問い合わせ先/ぐるぐる事務局(プラス設計内)
Tel.05984-2-5363

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

- とき/毎月第4日曜日
10月24日(日) AM10:00～PM4:00(雨天中止)

●ところ／近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上
●申込・問い合わせ先／久居フリーマーケット連絡会（山口登）
Tel.059-252-2117ホームページ <http://www.nttl-net.ne.jp/noboruyamaguchi/porta/>

助成金 ニュース

(財)たばこ産業弘済会・ (社)日本フィランソロピー協会 「がんばれNPO!」プロジェクト

- 受付締切／平成11年10月15日(金)消印有効
- 助成の対象となる団体／「市民ボランティア活動を推進する団体及びそれらの活動を支援する団体」であり、「公益法人もしくは特定非営利活動法人であるか、またはいずれの法人格を有していても、当プロジェクトがそれらと同等の資質を有すると判断した団体」
- 助成の対象となる活動／1.福祉の増進を図る活動、2.環境の保全を図る活動、3.青少年の育成を図る活動
- 助成対象事業の期間／平成12年1月～6月に実施する活動。
- 助成の額／1件あたりの助成金は対象事業などに要する支出額の80%以内。上限額は200万円。
- 応募方法／「応募書類郵送希望」と明記の上、団体名・代表者名・郵便番号・住所・電話番号を記載し、切手(270円分)を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封して、下記まで郵送。
- 問い合わせ先／「がんばれNPO!」プロジェクト事務局(佐々木) 106-0041 東京都港区麻布台2-3-8 丸山ビル7階 (社)日本フィランソロピー協会内 Tel.03-3568-3241 Fax.03-3568-3245

(財)国際コミュニケーション基金

- 受付期間／10月1日(金)～10月22日(金)必着
- 助成の目的／国際電気通信に関連した分野の助成・援助を行うことによって、幅広い人々の国際間交流の振興を図り、世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的に下記の3分野について助成・援助を行います。
- 1. 調査研究助成
- 助成の対象となる活動／国際分野を主軸とし、また国内も含めた通信の普及・発展、グローバル化、特にマルチメディア時代を先取りする調査、研究(法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの)。但し、通信事業者などの本来業務に該当するものは対象外とします。なお、助成・援助の申込者は、個人の場合は調査研究者本人、グループの場合は代表者として。
- 助成対象事業の期間／調査研究が平成12年4月以降に開始され、平成15年3月までに終了のもの。
- 助成の額／1件あたり100～300万円とし、15件程度。
- 2. 国際会議開催助成
- 助成の対象となる活動／通信の普及・発展に寄与する国際会議。但し、通信事業者などの本来業務に該当するものは対象外。
- 助成対象事業の期間／平成12年4月～平成13年9月の間に開催

されるもの。

●助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。

3. 社会的・文化的諸活動助成

- 助成の対象となる活動／情報化社会の動向に即し、電気通信を通じて社会や教育などに貢献する各種の非営利団体、非政府組織の活動、「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業。通信の普及・発展、あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など。(例えばイベント、講演会、ボランティア活動)但し、通信事業者や地方自治体などの本来業務に該当するものは対象外とします。また活動に要する費用のうち経常経費(事務所の運営費、当該団体に属する方の人件費など)は助成の対象となりません。
- 助成対象事業の期間／平成12年4月～平成13年9月の間に実施されるもの。
- 助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。

●応募方法／申込書は下記へ申し込むほか、ホームページからダウンロードもできます。

●問い合わせ先／(財)国際コミュニケーション基金 163-8003 東京都新宿区西新宿2-3-2 KDDビル31階 Tel.03-3347-7094 Fax.03-3347-6439 E-mail info@icf.or.jp ホームページ <http://www.icf.or.jp>

(社)三重県緑化推進協会 緑の募金交付事業

- 受付締切／10月25日(月)
- 助成の目的／平成7年に成立した「緑の募金法」を活用した森林の整備・緑化の推進を図ることを目的としています。
- 助成の対象となる活動／
- 1. 森林の整備
- (1) 地域住民などが参加する森林の整備。
- (2) 地域のシンボルとなる森林などの保護。
- 2. 緑化の推進
- (1) 地域住民などが参加する環境緑化活動。
- (2) 地域住民を対象とした普及啓発、緑化イベントの開催。
- (3) 地域団体の育成。
- (4) 緑の街づくり推進に係わるもの。
- ※詳しくは協会にお問い合わせください。
- 助成対象事業の期間／平成12年5月末日までに完了できる事業。
- 助成の額／1事業につき50万円以内
- 問い合わせ先／(社)三重県緑化推進協会 514-0003 津市桜橋1丁目104 Tel.059-224-9100 Fax.059-224-9118

WWF Japan 自然保護助成

- 受付期間／10月1日(金)～11月30日(火)
- 助成の対象となる団体・個人／日本国内で自然保護活動を行っている団体・個人。但し、WWF会員が参加していること。
- 助成の対象となる活動／自然保護のための調査研究・普及教育・保護活動など。それぞれの活動は具体的な成果が得られる可能性のあるもの。私営営利を目的としたものは対象外。2000年度は「里山地域」、「干潟」、「サンゴ礁」、「南西諸島」の4分野をテーマとし、重点を置きます。これ以外のものは「一般」部門に応募してください。
- 助成対象事業の期間／平成12年4月1日～平成13年3月31日
- 助成の額／30万円、60万円、100万円のなかから選択。

応募方法 / 申請書を下記まで請求。

問い合わせ先 / (財)世界自然保護基金日本委員会 105-0014
東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6階 Tel.03-3769-
1713 Fax.03-3769-1717 E-mail kusakari@wwf.or.jp

ハウジングアンドコミュニティ財団 住まいとコミュニティづくり活動助成

受付期間 / 10月1日(金)~12月10日(金)消印有効

助成の目的 / 住まいとコミュニティづくりにとって必要となる施設などの整備のための研究調査、技術開発、デザイン開発、政策提言などを行うとともに、これらの諸活動を行おうとする方々への支援を通じて、個性豊かな住環境の創造に資すること。

助成の対象となる活動 / 民間の有志グループが行う、住まいとコミュニティづくりに関する下記7項目の活動。なお、事業記録などの作成・出版、講演会・シンポジウムの開催も含まれます。

1. 探検・点検型の活動... 住まいとコミュニティづくりのきっかけになるような住まいのまわりにあるいろいろな魅力や可能性を探し出す。
2. 施設の提案・創造型の活動... 住宅地のなかで子どもの遊び場や、お年寄りがくつろげる場所など、生活を豊かにする施設を提案し、その実現をめざす。
3. 住環境の保全・整備型の活動... 花や緑を増やしたり、歴史のある建物を残し活用したり、歩道や道路を整備したりすることなど、住まいの環境を良くしたり、コミュニティの活性化につながるような活動。
4. 自然の保護・活用型の活動... 動物や植物の生態を守りながら、それを生かした住まいとコミュニティづくりを提案し、実現をめざす。
5. 入居者参加の住まいづくりを目指した活動... コーポラティブハウスなど入居希望者があらかじめ参加する集合住宅の建設をめざした全体構想の策定、推進方法の検討、参加者募集などについての活動。
6. 集合住宅の建て替え、増改築、大規模修繕をめざした活動... 集合住宅の建て替え、増改築、大規模修繕をめざした居住者が中心となった調査、企画、計画についての活動。
7. その他の活動... 住環境教育、防災まちづくり、街の活性化など住まいとコミュニティづくりにつながるあらゆる活動。

助成の期間 / 平成12年4月1日~平成13年3月31日

助成の額 / 1件あたり原則として100万円を上限。総額1000万円を予定。

応募方法 / 11月10日(水)までに官製ハガキにて住所、氏名、電話番号を明記のうえ、下記「活動助成Z係」まで応募要項・申込書を請求してください。

問い合わせ先 / (財)ハウジングアンドコミュニティ財団 107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階 Tel.03-3586-4869

(財)ポーラ美術振興財団各種助成

受付期間 / 11月1日(月)~12月20日(月)消印有効

助成の目的 / 広く一般からの公募により、美術分野における活動を助成し、もって我が国芸術文化の向上、発展に寄与すること。

助成の対象と応募資格 /

1. 若手芸術家の在外研修
(1) 絵画、彫刻、工芸などの創作に従事する者。
(2) 平成12年4月1日現在で年齢20才以上35才以下の者。
(3) 日本国籍を有する者、または日本の永住資格を有する者。
(4) 研修指導者のもとで研修に従事するもの。(研修受入れの保証があること、なお留学ではありませんので入学許可書は不要)

(5) 研修期間は1年程度であり、この間常勤的な職に就かないこと。

(6) 海外での研修に必要な語学力を有すること。

(7) 心身ともに健康であること。

2. 美術館職員の調査研究

(1) 美術館などに勤務する職員。

(2) 日本国籍を有する者、または日本の永住資格を有する者。

(3) 勤務場所を離れて調査研究などに従事する場合、所属機関の長の承認が得られること。

(4) 調査研究の対象地域は国内外を問いません。

3. 美術に関する国際交流

A. 海外美術展

(1) 我が国美術家が、海外において開催する個展、共同展。

(2) 我が国美術家の作品を海外に紹介するため、海外の美術館などと共同して開催する展覧会。

B. 国内開催の国際会議

(1) 我が国で開催され、多くの外国人美術家ないし、美術研究者の参加を得て行われる美術に関する国際会議。(研究集会、シンポジウム、セミナーなどを含む)

助成対象事業の期間 / 平成12年4月~平成13年3月

助成の額 / 1. 若手芸術家の在外研修... 15名・1名340万円以内

2. 美術館職員の調査研究... 15件・1件200万円以内

3. 美術に関する国際交流... 12件・1件200万円以内

応募方法 / 申請書は希望する対象分野を指定し、宛先を明記したA4サイズの返信用封筒に140円切手を貼付同封のうえ、下記まで。

問い合わせ先 / (財)ポーラ美術振興財団 141-0031 東京都品川区西五反田2-2-10 Tel.03-3494-8237(代) Fax.03-3493-6293

国際交流基金 地域・草の根交流欧州派遣助成

受付締切 / 12月20日(月)必着

助成の目的 / 日本と欧州(旧ソ連を含む)の間の地域・草の根レベルの国際相互理解または国際友好親善を促進するため。

助成の対象となる団体 / 日本国内で地域・草の根レベルにおいて、文化、スポーツ、教育、福祉、環境、国際交流などの分野で活動を行う非営利団体。

助成の対象となる活動 /

1. 欧州において関係機関などとの意見交換などのために人物を派遣すること。

2. 欧州において行われる会議、シンポジウムなどに発表、司会など重要な役割を果たすために人物を派遣すること。

3. わが国の地域レベルの国際交流活動を指導する立場にある人物を、当該人物の従事する業務の研修のために欧州へ派遣すること。

4. その他地域・草の根レベルにおける国際相互理解、または国際友好親善に特に寄与すると認められる活動のために欧州に人物を派遣すること。

助成対象事業の期間 / 平成12年4月1日~平成13年3月31日までの間に日本を出発する事業。上記の対象活動の1、2、4の場合は1か月以内。3の場合は1か月以上1年未満。

助成の額 / 1. 居住地最寄りの空港と事業実施地最寄りの空港間の国際航空賃(ディスカウント往復航空運賃)。2. 滞在費の一部。

応募方法 / 申請書を下記まで請求。

問い合わせ先 / 国際交流基金 人物交流部派遣課 107-6021 東京都港区赤坂1丁目12番32号 アーク森ビル21階 Tel.03-5562-3521 Fax.03-5562-3497

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。先月の田部眞樹子さんがバトンタッチしたのは伊勢市の三輪無一さん。ファーム設立準備会の代表として、また伊勢志摩NPOネットワークの会の理事としても活躍中です。

子どもたちに自然に親しむ楽しさを伝える

……三輪さんが市民活動を始めたきっかけは？

自分が住んでいる高麗広公民館の運営委員をしてみました。元分校を公民館として使用していましたが、神宮の土地を借りていたので返却しなくてはいけなくなりました。でも、教育に係わることをすれば引き続き借りられるということだったので、伊勢市中央公民館の分館として地域の文化の向上のために活用することになったんです。予算を伊勢市からいただいて、地域住人が運営する形態です。

……公民館の運営自体が市民活動だったんですね。

高麗広は伊勢神宮の内宮から車で30分ほど山へ入ったところなんですが、過疎化が進んでいます。僕はここに13年ほど前に引っ越してきました。その時に数人の若者が「高麗広という場所をどうしようか？」という話をしていたんです。ここには組という集まりがあって、若者が地域全体を動かしていくのはなかなか難しかったんですが、公民館の役員ならあまり人間関係の利益不利益にも縛られていないし、独自予算はあるしこれはいいんじゃないかと思ひまして。

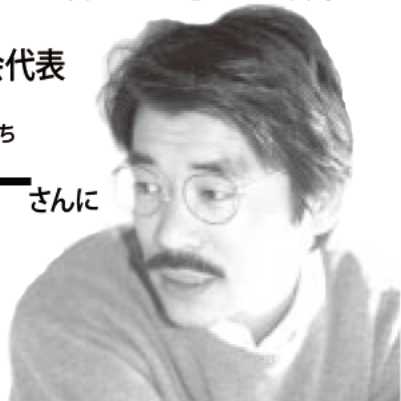
……具体的にはどんな活動をしましたか？

野上がリフェスティバルとって今も続けていますが、田植えが終わった後、集まってバーベキューパーティーをします。岐阜県の串原村からグローバルハムの石原さんに来ていただいて手づくりハムの講習会を開いたり、地域の住人の親睦が目的です。そして、高麗広こどもの国という活動を平成4年から始めました。高麗広は五十鈴川の上流で、神宮の森に囲まれた自然豊かな土地です。これを生かして、自然観察会やネイチャーゲーム、野草採りなどのプログラムを通じて子どもたちに自然に親しむ楽しさを伝えたいと思ったんです。

ファーム設立準備会代表

ぶ いち
三輪無一 さんに

聞く

**「生き方としての農」を求めて**

……今年の11月に福井県で行われる「福井・滋賀・三重市民活動フォーラム'99」（以下、三県フォーラムと略）で三輪さんは「農に学ぶ」という分科会をコーディネートしますが、「農」に係わるようになったのはいつ頃ですか？

障害を持つ人々が農業をすることによってリハビリというか、自立できる施設をつくれないうちという気持ちで学生の頃からありまして、28歳の時に仕事を辞め、愛知県北設楽郡設楽町に出来た設楽農学校に入りました。

……設楽農学校というのはどういうところですか？

湯本裕和さんが私財を投じてつくった私塾です。共同生活をしながら有機農業や鶏飼育など家畜の世話を覚えました。この間に夏野菜づくりや牛を飼っている農家でアルバイトを兼ねて勉強したり、福祉施設や有機農法を行っているグループを訪ねたりしました。1年くらいそういうことを続けているうちに、農業というのは土地を所有するかどうかは別にして、自分の土地と呼べる場所を見つけてそこでくっつくってこそ初めてやりがいが出るものだと思ったんです。

……それで高麗広に越して来たんですね。

僕は長男で、親も年をとっていきますから故郷の御園村からあまり離れた所にはいけません。三重県は雪も降らないし、年間を通して作物ができるという良さがありますから、丁度良かったんです。それで近辺を探したら、上手い具合に高麗広という土地があったんです。

……現在、職業として農業を行ってませんか？

いつも「農」のことは考えているんですけどね。仕事をしているのは食べるためもありますが、将来ファームなどの施設を経営することを考えると僕が外で働いた方がいいんです。施設の方から自分の給料を受け取らなくてすめば、その分、良いスタッフを雇えますから。僕は子どもたちにとってそんなに良い大人じゃない。だから自分より良い人がその分、かかわってくればいいし、僕の良さは別の部分で生かせばいい。NPO法人で言えば、僕は無償で理事長か理事にでもなって、他で稼いでくる。多分、事業の方はお金が足らなくなるでしょうから、それを補う分まで稼げればいいですね。あと、僕自身が不健康ですから、その状態をどうすれば癒せるかという点でも農業はテーマ。農業には人を癒す力があると僕は信じているからです。

……農業に関しては思い入れやポリシーがあるわけですね。農業の捉え方についてはそれなりに考えることがありますね。町おこしや村おこしのように住民が自分の住む地域をよくするために農業をどうしようとする場合と、脱サラなどで「生き方としての農」を求めている場合では農に対する考え方が違うと思います。例えば結婚問題。「生き方としての農」を求めて来た年頃の男女が出会うと結構、結婚までいくわけです。お互いに目指すものが似ていますから。ところが一方では農家に嫁が来ないと言っている。生産規模がある農家ではなく、不安定なこちらに嫁が来る。一概には言えないけど、「生き方としての農」という考えがないと、人がこれから自分がやっていくこととして農を選ぶには弱いものがあるんでしょう。

……「生き方としての農」にこだわっている人は有機栽培にしてもすごく情熱がありますよね。

有機農業というのは非常に高度な農業技術に裏打ちされているんです。家業として自分がやり、子どもにもさせようという人の方が技術的に優れているし、経営的にも成り立つ場合が多いですね。哲学的、思想的な面から入った人よりも、生産基盤も技術も持っている、農の人脈もある。そういう専業農家の方がより「生き方としての農」を実現している例も多くなってきました。

……思想的な面から入った場合、「生き方としての農」という

のは現金収入を得るための手段としては弱いのでは？

弱いですね。例えば森林組合に行ったり、炭焼きという方法で解決する人もいますし、あるいは……。あまり例がないですね。(笑)。生きがいや健康のためと考えると、退職後に残りの人生の過ごし方として始めるの方が純粹かも…。若者はやはり現金収入がないと困ってしまうんです。僕の仲間でも子どもが生まれたりして、現金収入が必要になって、働きに行くしかないというケースが結構多いですね。

行政区・分野を超えて広がるネットワーク

……ところで「生き方としての農」という分野は専門的すぎて、活動が広がっていきにくいのではないですか？

確かに。でも、高麗広こどもの国にしても、最初は公民館活動で始めたのが、文部省が第2土曜日を休みにしたことで、そちらにも分野が広がりました。また続けていくなかで講師は誰がいいのか、人に頼むのが無理なら自分がましようというんな交流ができてきます。そうやって連絡を取るうち、NPO室ができて市民活動ニュースを郵送してくれるようになりました。自分の情報網も大分整ってきました。……市民活動につながる窓口が高麗広こどもの国だったと。活動のなかで自分に足りない部分や得手が見えて来ましたね。

自分の活動をすすめるためには行政区や分野を超える必要を感じた仲間が、伊勢志摩NPOネットワークの会をつくった……。

……今、三輪さんが手がけていることを教えてください。

一つはファーム設立準備会と言います。これは高麗広こどもの国から移行したもので、約5人が参加しています。普段は個人で自然体験活動や観覧をしている人たちですが、一人でしていると自分が怪我をした時なんかには会を開催できなくなりますから、それを融通つけられるようにしようということで集まったんです。そのなかで子どもたちの自然体験農場をつくりたいと考えている人のは僕ともう一人くらい。二人ともそれぞれ思い描く農場は違いますが、農場を持ちたいという気持ちは同じです。

もう一つは伊勢志摩NPOネットワークの会です。中村元^{はじめ}さんを会長にこの9月に立ちあげました。僕は15、6人いる理事の一人です。

……伊勢志摩NPOネットワークの会はどんな集まりですか？伊勢志摩、度会、鳥羽の市民活動をしている個人、あるいはグループの集まりです。中心メンバーは約20人弱。これはネットワークを一生懸命ましよう、相互にも助け合うけれど、自分たちを必要としている人に支援をましようという会なんです。特に中村さんなんかは津に市民活動センターがあっても、こちらからは遠いんだから自分たちがつづかないとグループの活動を手助けできないと考えています。市民活動グループに呼びかけて、そのなかからネットワークに入っ



いいよという人や、運営委員になってもいいという人に改めて声をかけました。これが運営会員という正会員です。あと、登録会員というサービスを受けるだけの準会員やお金の面で支援してくれる賛助会員を募っています。

……ゆるやかな連携のなかで

親子で力を合わせてバードテーブルづくり。お父さんも、子どもたちも生き生きしています。

情報交流をしていこうということですか？

機関誌をつくったり、セミナーを共同でひらいたり、事務局機能も持ちたいです。今、取りあえずは県民局の担当者に事務局をしてもらっています。彼女は会議にも参加してくれています。

……これまで伊勢志摩地方にネットワークはありましたか？

社会福祉協議会やボランティア連絡協議会はありましたが、ほとんどが福祉系グループで、分野を越えてのネットワークとなると今までありませんでした。分野ごとのネットワークは伊勢JCがつくった伊勢まちづくりネットなどがありました。けれど、事務局を置いて、きちんと連絡を取りながら分野を越えたつながりを地域のなかで持ち、自分たちが助け合いをできる場所、あるいは個人やグループに対しての支援をましようという範囲まで考えたものはなかったと思います。……広域ですから大変ではないですか？例えば、まず伊勢市内でつくって…という風には考えなかったのですか？

伊勢市内で考えると福祉系、まちづくり系、そして自然や環境系。それぞれの分野では交流しているんです。僕の活動の一つに海岸に流れ着いたプラスチックの丸い粒、レジンペレットと言いますが、これを子どもたちと見つけて、海と環境を考える自然体験があります。伊勢湾岸だけでなく熊野灘にも行きます。例えば紀伊長島町の古里海岸で拾う時はそこで活動している方と協力するわけです。本来は浜辺にないプラスチック粒がなぜ浜辺にあるかを想像するためにまちづくりグループから知識と思想を学ぶことが多かったですね。市民活動をしているうちに、自分の活動をすすめるためには行政区や分野を超える必要を感じた仲間が、伊勢志摩NPOネットワークの会をつくったと思っただけならどうでしょうか。

……伊勢以外の地域でも多岐に渡る分野で市民活動が活発なのですか？

僕が見聞きする限りでは、市民が自発的な活動としてどこまで行っているかは…。むしろ行政が一生涯懸命働きかけて、何か動きが出てくると自分たちは市民の後ろにもぐりこんで、市民を前にたてようとするんですね。でもなかなか思うほど市民の方は動いてくれないというのが実際のところ。これから市民社会を担う人たちがどんな風に出てくるかが楽しみです。三県フォーラムの実行委員や伊勢志摩NPOネットワークの会に関わるなかで、市民の時代がそこまで来ているのを強く感じています。

ファーム設立準備会(三輪)

住所/516-0024 伊勢市宇治今在家町633

Tel.0596-24-9538 Fax.0596-27-3310

三輪無一さんはこの人を紹介します。

樋口泰男(ひぐちやすお)さん。

巨大な灯籠が夏の海を彩る紀伊長島町の灯籠祭。県内外から多くの人が見物に訪れ、「海のねぶた祭」とも呼ばれるこの祭の副実行委員長を担当したほか、東紀州体験フェスタでも活躍している方です。

編集後記

昨年、三重県で行われた「福井・滋賀・三重市民活動フォーラム」が今年には福井で行われます。インタビューに登場した三輪さんほか、三重県からもたくさんの方が参加する注目の企画。参加検討中の方はお早めにお申込みを。また、市民活動ニュースでは今後行われるイベントの情報やご意見、ご要望をお待ちしています。Faxや郵送、E-mailで気軽にお知らせください。